

令和6(2024)年1月11日

学長メッセージ(第2信) <2024年の授業開始にあたって>

能登半島地震が発生して10日。
まず亡くなられた方々にお悔やみを申し上げるとともに、
被災され不自由な生活を強いられている方々に、
心よりお見舞いを申し上げます。

本学では
すでに学生及び教職員全員の無事を確認し、また学内の施設・設備の点検も終え、
予定通り1月9日(火)より授業を開始しました。
一部、断水の被害が発生していますが、近日中には復旧予定です。
被災された学生には心の健康を保つための相談窓口を設け、
通学困難な学生には学修機会が失われないよう別途配慮することとしています。

本学は元旦新聞に
メッセージ広告「[一人で考えてたら誰かにつながった](#)」を掲載し、
学びから広がる地域共創の可能性に、元気を吹き込む言葉を発信しました。
しかし、今回の大地震によって、人の命、絆、未来、幸福など、
多くの可能性が瞬時に失われる現実を目の当たりにしました。

それでも私たちは教育の力を信じます。
多くの困難を受け止め、暮らしの安定を願い、
学びの環境を整え、日々の教育活動に真摯に向き合い、
地域の皆さまとともに新しい元気を育ててまいりたいと考えます。

被災地支援に当たっている多くの方々に感謝と敬意を表しつつ、
私たちは、日々の「授業」の運営に全力で取り組んでまいります。

金城大学学長 米島 學
金城大学短期大学部学長 加藤 博